

栽培を通して感じたもの
対象 5歳児年長組 作成者 進藤早苗
作成日 2020年6月3日(水)

保育のねらい： トマトの栽培に期待を持ち、自分の出来ることを考える



保育の振り返り

トマトの栽培が始まり、日に日に大きく育っていく姿を楽しみにしている毎日です。トマトの実がすぐにつき順調かな？と感じていたある日、実が落ちていました。見つけたのは男の子たち。「あー」と残念そうな声が聞こえてきました。私は3年前に年長組を担当した時にも同じ経験をしました。その時はショックで上手く子どもたちをフォロー出来なかったことを思い出しました。今回は子どもたちに自然に落ちてしまうことも鳥が来てつついてしまうこともあるんだよという話をしたところ、どの子も真剣に私の話を聞いていました。誰かのせいにするのではなく、これからどうするかを子ども達と一緒に考えました。まだまだ実がなると思うから、大切に育ててみよう！楽しんで栽培しよう！もっと観察してみよう！と期待を持たせた日となりました。その後落ちることはなくなりましたが、トマトのお尻が黒くなってしまい、なかなか赤くならず、試行錯誤の毎日ですが子どもたちと楽しみに栽培していきたいです。

(言葉による伝え合い、自然との関わり・生命尊重、健康な心と体、協同性)